

令和元年東日本台風による河川関係の浸水に関する住民説明会 御質問・御意見

【 三沢川（JR南武線三沢川橋梁周辺） 】

No.	御質問・御意見 (いただいた原文をそのまま掲載しています。)	回答
1	資料4ページ、16:03からの水門全閉についてです。水門全閉に30分かかり、15:30に閉め始めたと前回の説明会で伺いました。15:30の閉め始める前にリアルタイムでソフトのシステムに反映するシステムを構造するのは技術的な難易度は低いと考えます。国とシステムの連携をよろしく願います。	タイムラインについては、洪水時の避難の際に御活用いただくために作成したもので、令和元年東日本台風時の三沢川水門の閉鎖による三沢川の水位の上昇量も考慮した上で、判断の目安となる水位を設定しております。
2	当時、乳幼児を抱えて16:05に1mの浸水で避難しました。資料5ページによると10/13の06:00まで浸水が続いています。13:00頃まで停電していました。10/18の9:00頃に避難所閉鎖され、家は床上浸水、停電、子供を抱えて路頭に迷いました。浸水した時にはせめて翌日の10/13中は避難所を開いて頂きたいです。動けない高齢者さんが家族に居る方も困ると思います。	令和元年東日本台風では、警報が解除され避難者の方の退去を確認しながら避難所の閉鎖を行いました。今後は、被災状況を踏まえながら、引き続き支援が必要な方に対して、臨時の避難先を確保するなど、柔軟に対応してまいります。
3	1m20cmの浸水は大きな被害だと思います。もう一度は生活できません。	令和元年東日本台風の浸水状況を踏まえた様々な対策を着実に推進するなど、浸水被害の最小化に向けて取り組んでまいります。
4	昨年10月12日と同様の状況、雨量で浸水被害が行った場合は、川崎市の責任は免れることなく、重大な責任を負うものと考えています。責任をとっていただきます。	
5	床上浸水になり仮住まい、リフォームと精神的・体力的に金銭面、大変な思いは二度とあってはならないと住民全員思います。	
6	浸水は二度とない対策をお願いします。	
7	また台風の時期が来ました。本日の説明を聞いても不安だらけ、また床上・床下浸水が再び起こるのかと思う。後手後手、、、まだ対応がとはっきりした答えがもらえていない。早急な対応がされていない。	
8	何もしていない訳ではないというが、住民が説明を聞いても不安に思うということは何もしていないのと同じだと思う。	
9	R1年10月12日（台風19号）による被害にて被災した一住民として、本日の住民説明会はありがたかったです。早く行われることを願っていましたが、やっとという感じです。色々と説明を受けましたが、情報のキャッチが遅れたことも反省しておいででした。自然の事故には確実に防ぐことは無理です。私達住民は理解できています。水害の元になった事を伝えることは、何も知らされていない住民に対する義務かと思いますが。だいぶ色々と施行されて次の台風や被害を最小限に防げるよう努力して下さっている現場の方々にも感謝致します。途中で主人が気分が悪いと連絡が入り退座してしまったことを大切な説明会の最終まで聞けずに申し訳ありませんでした。今後ともよろしく願い致します。	

令和元年東日本台風による河川関係の浸水に関する住民説明会 御質問・御意見

【 三沢川（JR南武線三沢川橋梁周辺） 】

No.	御質問・御意見 (いただいた原文をそのまま掲載しています。)	回答
10	川崎市は山と川の多い地域です。同じ規模の台風が来る時、避難所の人数がスペックオーバーとなる可能性高いと思います。浸水可能性地域やがけ崩れの可能地域も多いです。避難所に住民全員逃げられるような整備をお願いします。	令和元年東日本台風の検証を踏まえ、避難所となる市立学校での避難スペース確保として、普通教室なども積極的に開放していただけるよう、施設管理者と調整を行っております。 また、風水害は気象予報等から、事前の避難準備ができますので、ご自宅のハザードリスクを確認いただき、ご自身の居住環境等に応じて、自宅での垂直避難や親戚・友人宅への分散避難など、適切な避難行動をとっていただきますよう、お願いいたします。
11	台風の際、避難所をたらいまわしにされ、どうになってしまうのか恐怖を感じた。また、体育館で長時間座り続けるのは苦痛だった。避難所の改善をしてほしい。浸水する地に避難所があるのは不安。	
12	実際、対策予算がつき実施されている対策で、費用が発生した対策費は、①移動式ポンプ ②仮設小屋の仮設資材のみ ③水位計・カメラ ④フラップゲートのゴムパッキンに交換費 ⑤大丸用水護岸工事のみを認識しています。その他は道路公園センター職員他の労働によるもので、短期応急対策以外は未実施と思われる。水路網調査については2500万円の予算がついているにもかかわらず、4月より4か月も経ている現在、実施されていないようですが、早急に有効な大丸用水の減水対策を実施するべく、工程表、具体的な対策内容を住民に公表して下さい。	大丸用水の流量低減を図るため、これまで、稲城市と大丸用水の分水等の調整を行っておりまして、早急に水路網調査を実施し、引き続き、稲城市や上下水道局と連携しながら大丸用水の流量低減等の浸水対策を検討、実施するとともに、機会をとらえ、住民の皆様にお知らせしてまいりたいと考えております。 また、移動式ポンプについては、多摩区役所道路公園センターでも保管しておりますので、浸水が発生した場合、状況に応じて布田地区等に配置を行ってまいりたいと考えております。
13	稲城市大丸用水取水口排泥施設改修、稲城市から多摩区への流入量、減量、大丸用水水門常設ポンプ設置を早急に対策実施時期と内容を住民に公表下さい。必ず公表下さい。年内に。	
14	大丸用水以外の水路の対策が不十分。大丸用水と同様にポンプを設置してください。	
15	大丸用水の護岸工事をしてほしい。台風でなくても大雨が降ると水位が淵まで上がり溢れそうになる。	
16	大丸用水の水量をポンプで吸い上げて、その水をどこに排水するんですか。	大丸用水の水門閉鎖または暫定的な仮設止水板の設置により三沢川からの逆流を防止する場合には、移動式ポンプにより大丸用水の水を三沢川に排水します。
17	宅地化はますます進行しており、三沢川への雨水流入量は増大の一方です。平瀬川下流は90mm相当雨量に改修されているのに、三沢川については50mmのままで、今後の改修計画もないと聞いています。川崎市は県と国と連携して改修計画を要望し、大丸用水の対策と合わせて、三沢川の治水増強が必須と考えます。三沢川に対する市の考え方、取組を住民に示して下さい。	三沢川においては、河川管理者である神奈川県に対し、治水安全度の向上について積極的に要望してまいりたいと考えております。 本市といたしましては、大丸用水、三沢川への流入を抑制するために、稲城市や上下水道局と連携しながら、今年度に水路網調査及び内水対策の検討を行ってまいります。併せて、中長期対策といたしまして、水路網の見直しによる水路への流入削減や常設のポンプ施設の導入といった対策の検討を行ってまいります。

令和元年東日本台風による河川関係の浸水に関する住民説明会 御質問・御意見

【 三沢川（JR南武線三沢川橋梁周辺） 】

No.	御質問・御意見 (いただいた原文をそのまま掲載しています。)	回答
18	資料P6(2)短期・中期対策。ア.水路（水門）の補修や管理等。対策内容。稲田公園取水ポンプについて、大雨時には確実に取水を停止する。について、質問を3つさせて下さい。 この内容について、今年の浸水時には停止されていなかったのか教えて下さい。	稲田公園のポンプはタイマー式となっており、7時から18時までの間にポンプが稼働する設定となっております。 令和元年東日本台風以降は、稼働時間内における台風等の大雨時に、管理している多摩区役所道路公園センターの職員により、ポンプの稼働停止を行っております。
19	停止されていなかった場合、それは何故か理由を教えてください。	
20	今後は誰がどのようにして停止するのか、管理責任者と管理方法を明示下さい。 よろしく申し上げます。本日はありがとうございました。	
21	情報発信の一つとし、防災無線を大丸用水近くに設置することはできないのでしょうか。パソコン・スマホを使える方は情報を手に入れることが安易に出来ますが、年配の方には届きにくいかと思えます。大雨になったら車（情報車）も通れないのでは。。。早め早めの情報発信ともうすぐ迎える夏秋の台風対策をお願いします。	防災行政無線については、市内の聞こえづらいエリアを調査したうえで順次改善に努めているところです。 また、情報発信については、大丸用水の水位を注視しながら、関係局と連携しパトロール車等を活用した早めの情報発信を行ってまいります。
22	家の外門では1m強浸水。床上は70cm強浸水。この被災から意見です。防災無線放送が聞こえづらい。全く聞こえない。特に言葉が聞き取れません。はっきり聞き取れるよう即座に対応してください。	
23	国の課題と思いますが、多摩川全体の治水対策について聞きたかった。流量を多くする河原の掘削などが必要ではないかと思えます。	令和元年東日本台風の際に多摩川において甚大な被害が発生したことを踏まえ、社会経済被害の最小化を目指し、多摩川流域の国、都、県、市、区の連携による今後の治水対策等の取組について、国土交通省京浜河川事務所が主導し、「多摩川緊急治水対策プロジェクト」を取りまとめました。 本プロジェクトにおいては、河道の流下能力を向上させる取組として、国が令和6年度までに令和元年東日本台風において、多摩川の計画高水位を超過した水位観測所の範囲を中心に、約198万立方メートルの土砂掘削を実施いたします。 また、平瀬川及び三沢川合流部周辺において、本年6月に国が令和元年東日本台風による土砂堆積を踏まえ、河道管理上、必要な箇所の土砂掘削を行っております。
24	今後も想定される雨量に対し、三沢川のアクリル板の水圧に対し構造的安全は十分なのか。また、耐久性はどの位なのか。	令和元年東日本台風では、アクリル板を設置していた効果によって、三沢川周辺地域においては浸水被害が軽減されております。
25	アクリル板の永年劣化はどのように考えているか。	アクリル板は構造計算により安全性を確認しており、耐久性については、環境により経年劣化の状況は異なりますので、毎年の施設点検により状態の確認を行っていること神奈川県から伺っております。
26	ソフト対策について現在（案）ということのようですが、水量による避難タイムライン想定を知りたい。→いつ頃決まるのか。	タイムラインについては、三沢川の水位に着目し、避難等に必要時間を考慮の上で、判断の目安となる水位を設定しております。 また、新たに水路に設置した水位計のデータも参考にしながら、来年の台風シーズンに向けて見直しを行ってまいります。

【 三沢川（JR南武線三沢川橋梁周辺） 】

No.	御質問・御意見 (いただいた原文をそのまま掲載しています。)	回答
27	土のうステーションの設置はありがたいが、収容土のうが少ないのでは。	収納土のうについては、適宜、在庫確認を行っており、土のうが少なくなった場合には補充している状況です。なお、土のうステーションの土のうが不足した場合でも、迅速に土のうを御使用いただけるよう、土のう袋やスコップ等を常備しておりますので、大変お手数でございますが皆様に土のうを作製いただき、御活用ください。
28	土のうステーションはどのように活用するのですか。住民が的確に使えるように広報してください。	
29	土のうは全然数が足りない。床下収納から水が溢れたので、あまり意味はない。	
30	多摩川を深くもっと流れを下流にする方向には何か動いているのでしょうか。結局、三沢川の水を減水といっても多摩川にもっと流れていけば良いのではないですか？ 説明していただきありがとうございます。是非よろしく願いいたします。	多摩川の河道掘削等については、河道の流下能力を向上させる取組として、有効な対策と考えております。このことから、本年2月に、大田区、世田谷区と連名で国土交通大臣に対し、河道掘削等の実施を求める要望を行い、本年6月に国が令和元年東日本台風による土砂堆積を踏まえ、河道管理上、必要な箇所土砂掘削を行っております。
31	昨年の三沢川の水位と今年の水位が2～3倍上がっているが、どのように考えているのか。多摩川に砂利等たまっていると思われる。	今後も引き続き、国や多摩川流域の自治体と連携し、多摩川の治水安全度の向上に取り組んでまいります。
32	多摩川の浚渫をしっかりとやるように国に言って下さい。全体的に土砂がたまっています。	
33	この間の浚渫は100m×50m×高さ1mで、もう草が生えてきています。これでは多摩川の流下能力は全く低いです。三沢川、大丸用水への逆流、越水を防ぐには多摩川の浚渫が何よりも必要だと思います。	
34	多摩川と三沢川との合流地点などの上流からの土砂は早く取り除いてもらいたい。今年の5月トラックが運んでいたが、台風から1～2カ月のうちに取り除いてほしい。何かをつくるのは時間がかかるでしょうが、土砂を除くのは早くできるはずで。浸水にあってから夜、強い雨が降ると不安で眠れません。こういう人は多いと思います。もっと親身になって下さい。	
35	根本的には多摩川の水量の拡大が必要だと思います。昨年の台風で多摩川は相当上流から土砂が流れ、堆積し、流量が昨年より少なくなっていると思われます。多摩川の浚渫作業を早くよう国の方に強く働きかけて下さい。	
36	多摩川の中州が多過ぎませんか？ 特に布田水門から矢野口方面がひどいです。国への浚渫要望を強くお願いします。多摩川の水量容量を上げること。	
37	昨年の台風時、多摩川がもう少しで溢れそうでヒヤヒヤしました。多摩川の浚渫を早く進めるよう、国に働きかけて下さい。	

令和元年東日本台風による河川関係の浸水に関する住民説明会 御質問・御意見

【 三沢川（JR南武線三沢川橋梁周辺） 】

No.	御質問・御意見 (いただいた原文をそのまま掲載しています。)	回答
38	本年度、中野島町会の自主防災組織のメンバーで改修状況等を巡回視察致しました。その中から、①中野島地域にも土のうステーション、ポンプ（排水用移動）などを収納できる施設（適する場がないのが難点だが）を検討願えないか。	菅第4公園の土のうステーションについては、布田を含めた三沢川周辺の住民の皆様を対象として整備したものでございまして、御意見については、今後、検討してまいりたいと考えております。 また、移動式ポンプについては、多摩区役所道路公園センターでも保管しておりますので、浸水が発生した場合、状況に応じて布田地区等に配置を行ってまいりたいと考えております。
39	多摩川の状況、三沢川等の状況と避難に関する情報を広報する方法を検討願いたい → 三沢川水門の開閉について。	三沢川等の状況がリアルタイムで確認できるよう、新たに三沢川及び大丸用水等に設置した水位計とカメラの情報を9月から公開しております。 また、緊急時には、多摩川、及び三沢川水門の操作等による水位上昇も考慮した三沢川の水位に応じ、避難に関する情報をメールニュースかわさきや、パトロール車等により広報してまいります。
40	too little too lateにならぬよう、事前にできることを地域と連携して進めていきたいものです。※基本的に行政の方は異動があり、地域のことに對して長期的展望に立って継続的な取組がおろそかになりがちという認識が住民はぬぐえないと考えられる。行政と地域が良好な関係を維持しつつ対応を準備していきたい。	令和元年東日本台風の浸水状況を踏まえた様々な対策を着実に推進するなど、浸水被害の最小化に向けて取り組んでまいります。 また、中長期対策といたしまして、地域住民の皆様が主体的、自立的に継続して防災まちづくりを推進できる体制づくりを目指し、町内会等と連携した防災ワークショップや、まち歩き等の取組を開催し、地域防災力の向上を図ってまいります。
41	本日の説明会を聞いたのですが、根本的な対応（三沢川への水の制限）が十分にできていないのでとても心配です。入って来る水の制限が十分できず、排水できないのであれば、水を一時的にためておくことしかできないので、雨水管の貯水をするとの話がありましたが、稲田取水場などの土地に貯水池をつくっていただきたいと思えます。	三沢川周辺地域においては、令和元年東日本台風による河川関係の浸水に対する検証に基づき、当該地域に集中する雨水の流入経路である水路網の調査を行い、流入経路の見直しなどによる流量の削減を検討してまいります。 また、上下水道局においても、浸水対策の重点化地区の取組を進めていることから、連携して取り組んでいきたいと考えております。
42	資料P3(4)浸水地域の状況。字が小さくて読めないが、三沢川天宿水位危機状況でない。しかし、P4三沢川側水門の水位は危機状況である。これは大丸用水からの水量に大部分よるものなのか。	三沢川の天宿橋水位計については、浸水が発生した地域から約1キロメートル以上、上流に設置されております。 三沢川の天宿橋の水位に比べ、三沢川水門付近の水位が高い理由については、その間の区間で流入している水路等からの水による影響もあると考えられますが、多摩川上流で過去最高の雨量を観測した豪雨により、石原水位観測所などで計画高水位を超える既往最高水位を記録した多摩川の影響が大きいと考えております。
43	避難場所に下布田小が避難場所になってない。（水害の場合）	今後は、多摩川の洪水を警戒して避難所を開設する場合には、多摩区内21箇所の市立小中学校の全てを緊急避難所として開設する予定です。なお、下布田小学校は、家屋倒壊等氾濫想定区域に立地し、収容者数が限られる可能性があります。ついては、風水害では気象予報等から、事前の避難準備ができますので、ご自宅のハザードリスクを確認いただき、ご自身の居住環境等に応じて、自宅での垂直避難や親戚・友人宅への分散避難など、適切な避難行動をとっていただきますよう、お願いいたします。
44	私たちの地域に市長は視察に見えたのでしょうか？ 回答をお願いします。	令和元年東日本台風による被災の対応状況確認のため、三沢川周辺地域の視察を行っております。

令和元年東日本台風による河川関係の浸水に関する住民説明会 御質問・御意見

【 三沢川（JR南武線三沢川橋梁周辺） 】

No.	御質問・御意見 (いただいた原文をそのまま掲載しています。)	回答
45	雨水を排出する方法を三沢川に頼るだけでなく、専用の雨水路をつくるべき。	三沢川地区は重点化地区として位置付けて、時間雨量58ミリの降雨で浸水被害を発生させないことに加え、計画時点の既往最大の時間雨量92ミリの降雨においても床上浸水を発生させないよう検討を進めているところでして、工事については、できるだけ早い時期に着手できるよう努めてまいります。
46	今後の都市計画にもよると思いますが、雨水対策として下水整備と管の大きさを考えてください。多摩川に流すだけでなく。	
47	説明会でも話が出ていた雨水管の埋設に関してですが、最終的に三沢川下流に放流されるようですが、私たち下流域はそれによって浸水する恐れはないといえるか不安です。その点についてはどのようにお考えでしょうか？ また、私たちの地域に雨水管工事が始まるのはいつ頃でしょうか？是非早急に進めていただきたいと思っております。	
48	今回の説明会の開催について、災害にあった住民は事前の申し込みは必要ないと思う。	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、万が一、感染者が発生した場合に感染経路を特定する必要が生じることから、参加者を正確に把握することが重要ですが、説明会当日に受付簿に御記名いただきますと、受付付近が混雑する恐れがありました。そこで、受付での密状態を回避するため、事前の申し込みとさせていただきます。
49	生活用水に関して、埋め立てるか対策を考えてほしい。	水路については、道路や宅内の雨水排水先としても使用されているため、埋めることはできませんが、引き続き、稲城市や上下水道局と連携しながら浸水対策の検討と実施を行ってまいりたいと考えております。
50	暗渠は考えていないのか。	暗渠排水については、現在、計画はございません。大丸用水等につきまして、流量低減等の浸水対策を検討、実施してまいりたいと考えております。
51	稲田水門での川が増水してきたとき、お知らせサイレンがなるようにして下さい。お知らせサイレンの秒数をわかりやすくして下さい。去年の台風の時はならなかった。サイレンの秒数時間、何秒で水位が上がったのか。ダムからの放流、何秒。水位が増すことに何秒。プリントをお願いします。携帯でお知らせメールをお願いします。	多摩川、及び三沢川水門の操作等による水位上昇も考慮した三沢川の水位に応じた避難に関する情報を、防災行政無線の放送のほか、メールニュースかわさきや、パトロール車等により広報してまいります。
52	JRガード下：堤防（コンクリ部）がとても低いです。特に水門部分は極めて低い。さらに、そこまでに至る8m位はアクリル板が全く設置されていない。まさしく越水した部分です。速やかに対応・対策してください。	本市においては、検証の結果、アクリル板を含めて、三沢川護岸からの越水はなかったと考えております。 今後は、令和元年東日本台風の浸水状況を踏まえた様々な対策を着実に推進するなど、浸水被害の最小化に向けて取り組んでまいります。
53	水門開閉：誰が行うのか。具体的な人物が担当されていますか。	神奈川県による大丸用水の水門改修が完了するまでは、暫定的に仮設止水板により三沢川からの逆流を防止することとしており、その設置作業については多摩区役所道路公園センター職員が行います。 また、水門の改修後においても、水門の開閉作業については多摩区役所道路公園センター職員が行います。

令和元年東日本台風による河川関係の浸水に関する住民説明会 御質問・御意見

【 三沢川（JR南武線三沢川橋梁周辺） 】

No.	御質問・御意見 (いただいた原文をそのまま掲載しています。)	回答
54	コロナの中で説明会開催ありがとうございます。このような時期、前もって資料を目にしていたら、時間が限られているなら質疑応答の時間とってほしかった。	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、説明会の開催時間は概ね1時間半程度とさせていただいたことから、当日、御発言いただけなかった方々からの御質問などについては、「御質問・御意見記入用紙」をお配りし、御対応させていただきました。
55	避難所もその学校によって対応が違う。食事が出たところ、出ないところもあった。避難の学校と一緒にしてほしい。	令和元年東日本台風の検証を踏まえ、風水害時の避難所開設は一時的であることから、風水害時の緊急避難場所運営マニュアルを見直し、避難が長期化した場合の備えとして食料等物資の配布は原則行わないこととしました。風水害は気象予報等から事前の避難準備ができることから、各自の実情に合わせて必要なものを御持参くださるよう、お願いいたします。
56	避難所は、地域の小学校ですが、中野島地域にはカリタス学園もあります。カリタス学園も、災害時は避難所として避難所として開放してしてもらえようようにして下さい。それでもたちまい足りないと思います。	川崎市とカリタス学園の間において協議した中で、震災時に限り、地域の方があらかじめ指定されている避難所等に行くことが困難な時に、一時的に避難する場所として、校庭及び体育館を使用する協定を結んでおります。
57	現在進行している短期対策が実行された場合、大丸用水から流入する三沢川の水位は何メートル減水、減水位されるのか数字で回答下さい。	短期対策の実施により、令和元年東日本台風クラスの水位上昇に対する浸水被害の最小化は図られると考えておりますが、浸水シミュレーション等による検証が困難なことから、数値的な評価はできておりません。